

豊玉第二中学校における生徒との意見交換会 平成30年11月9日実施

	質問・要望(要旨)	回答(要旨)
1	<p>なぜ、教育委員会はつくられたのですか。理由と経緯を教えてください。また、教育委員会は、どのような仕事をしていますか。</p>	<p>教育委員会は、練馬区の子供たちがよりよい教育を受けることができるようにするためにはどうしたらよいかを話し合い、方針を決めて実現していくために作られた組織です。教育長と教育委員4名の合わせて5名のメンバーで、月2回会議を行っています。</p> <p>歴史的な経緯としては、第二次世界大戦終戦後、昭和23年7月に「教育委員会法」が施行され、全ての区市町村に教育委員会が設置されました。練馬区は昭和22年に板橋区から独立して誕生しており、練馬区に教育委員会ができたのは、その翌年の昭和23年11月になります。</p> <p>教育委員会は、区役所が行う仕事のうち、教育と子供に関する仕事を専門的に行っています。例えば、学校の建物を作ったり、トイレを様式にしたり、エアコンを設置したりする仕事、他にも、皆さんが使う教科書を選んだり、先生方などの研修や人事関係、入学や転学なども教育委員会の仕事です。さらに、小中学校だけでなく、幼稚園や保育園に関する仕事も行っています。</p> <p>つまり、教育委員会では、練馬区の子供たちに関わる、大変多くの仕事をしていると考えていただけると分かりやすいと思います。</p> <p>また、教育に関する仕事は種類も量もたくさんあるため、この5人のほかに「事務局」という事務的な仕事を行う職員がいます。実際には大勢の職員が練馬区の子供たちのために様々な仕事をしています。</p>
2	<p>夏休みの宿題は必要ですか。</p>	<p>宿題は、学習面と生活面の両方から必要なものだと考えています。</p> <p>宿題の学習面の効果として、各教科の復習をする課題では、これまでの学習内容を振り返り、確認することで、きちんと身に付いていなかったことを改めてやり直したり、理解を確かなものにしたることができます。発展的な内容を学習する課題では、学んだ知識を活用し、さらに学力を身に付けるといった効果が期待できます。</p> <p>また、宿題の生活面の効果として、特に夏休みの場合、不規則になりがちな生活の中で、計画的・継続的に学習に取り組む生活習慣を付けることを先生方は期待しています。夏休み全体の予定を考慮しながら宿題の計画を立て、早めに終わらせるように努める方もいるでしょうし、夏休み後半になって慌てて取り組む方もいるかもしれません。先生方は、皆さんの夏休みが実り多いものになるよう、宿題の内容や分量を考えてくれています。</p> <p>夏休みの宿題は、基礎学力の定着や発展学習への取組、学習習慣の定着のために、必要なものなのです。</p>

	質問・要望(要旨)	回答(要旨)
3	<p>給食で使っている箸は、なぜ「木」なのですか。「プラスチック」の方が衛生的にもよいと思います。</p>	<p>食事に使用する箸には様々な材質のものがあり、それぞれに特色があります。食事をおいしく食べるために、使用する箸や食器は大切な役割を果たしています。</p> <p>天然素材である木製の箸は、プラスチックにはない温もりがあり、また、プラスチックに比べて滑りにくいため、持ちやすいという長所があります。そのような理由から、現在、練馬区の小・中学校ではプラスチックではなく、木製の箸を使用しています。</p> <p>各学校では、木製の箸を使用するのにあたり、適切に保管したり、交換したりして、衛生的に使用できるようにしています。ぜひ、安心して箸を使っておいしい給食を食べてください。</p>
4	<p>実技教科の学習は中学校でも必要ですか。実技教科は小学校のときに学んでいるので、中学校ではなくてもいいと思います。</p>	<p>実技教科の中には小学校の時と名前が変わっているものがあります。これは、それぞれの教科が小学校の時の学習に比べ、より専門的で、より広い範囲の内容を学ぶものになるからです。小学校では、多くの教科を担当の先生が教えていたと思いますが、中学校では各教科の専門の先生が指導します。これも、中学校の学習が、小学校の学習に比べ、より専門的な内容を扱うことになるからです。</p> <p>現在、皆さんは、小学校の音楽、図工、家庭、体育で学んだことを、中学校において、高めたり深めたりする学習に取り組んでいるのです。</p> <p>また、中学校の授業を受ける中で、特に興味や関心をもてる教科に出会えた人もいないのでしょうか。そうした教科は、今後の進路や職業の選択に大きなかかわりがあるかもしれません。</p> <p>ぜひ、いろいろな教科に一生懸命取り組み、様々な力をバランスよく身に付けてほしいと思います。そして、その中から将来の生き方につながるような得意なこと、大好きなことを見付けられるように願っています。</p>
5	<p>iPadなどを使っての授業を受けてみたいと思うのですが、練馬区では、iPadなどを中学校の授業に導入する予定はありますか。</p>	<p>練馬区では、タブレットパソコンだけではなく、パソコンや大型ディスプレイなどのICT機器を使って、インターネットやデジタル教材の画像や動画を使いながら、先生たちがより分かりやすい授業を行うことができるようにし、皆さんが興味・関心を持って、勉強しやすい環境を作ろうと考えています。</p> <p>昨年度から小学校4校、中学校2校にタブレットパソコンと大型ディスプレイなどを取り入れて、実際に皆さんに使ってもらいながら、ICT機器の活用方法や効果について研究しています。今後は全校でICT機器を活用した授業を行えるよう計画しています。</p> <p>なお、導入する機器の種類については、授業で使いたいソフト数や費用がどれくらいかかるかなど、総合的に判断して選んでいきます。</p>

	質問・要望(要旨)	回答(要旨)
6	<p>なぜ、給食の牛乳を「瓶」から「紙パック」にしたのですか。</p>	<p>瓶は破損しやすく、割れた瓶を片付ける際に、けがをしてしまう可能性があります。また、牛乳瓶はとても重く、クラス全員分を運ぶとなると、かなりの労力を要します。その点、紙パックは瓶のように割れる心配がありませんし、瓶よりも軽いため運びやすいという長所もあります。</p> <p>また、牛乳瓶はリユース、つまり洗浄して再度使用することができるのに対し、紙パックはリサイクルが可能となっており、容器の変更後も資源を有効に活用することができます。昨年までは瓶の牛乳でしたが、瓶をリユースするためには、工場に運んで洗浄しなければなりません。工場までの空瓶の運搬は瓶の重さや体積もあり、とても大変な作業でした。</p> <p>そうした様々な要素を検討した結果、練馬区では、今年度より紙パックに変更しました。</p>
7	<p>学校で何か事件があったときの教育委員会の防犯対策としては、どんなことがありますか。具体的に何をしていますのですか。</p>	<p>学校に万が一不審者や犯罪者が侵入するなどの事件が起きた場合に備えて、学校の敷地内に防犯カメラを設置し、職員室などでモニターできるようにしているほか、小学校では保護者や地域の皆さんが学校安全安心ボランティアとなり、学校に怪しい人が入ってこないようにチェックしています。また、対応マニュアルを作り、事件や事故が起こった時に先生方が迅速かつ的確に対応できるようにしています。</p> <p>さらに、警察官が到着するまでの間、児童・生徒の皆さんを守るため、「さすまた」や「催涙スプレー」などの防犯グッズを職員室や事務室に備え付けており、いざという時、先生方が正しく使うことができるように、警察出身の学校防犯指導員や現役警察官が講師となり、不審者対応訓練や講習を行っています。学校で事件が発生した時は自分勝手に判断せず、先生方の指示に従って安全な場所に避難してください。</p> <p>なお、登下校時の防犯のため、全ての小学校65校の通学路などに、各校5台ずつ、合わせて325台の防犯カメラを設置しています。さらに、学校防犯指導員が通学路などの危険な場所を確認したり、不審者情報の内容を分析し、必要な場所に民間警備員を配置する仕事を行っています。</p> <p>教育委員会はこれからも学校や地域と協力しながら、皆さんの安全を守る取組を進めていきます。</p>